

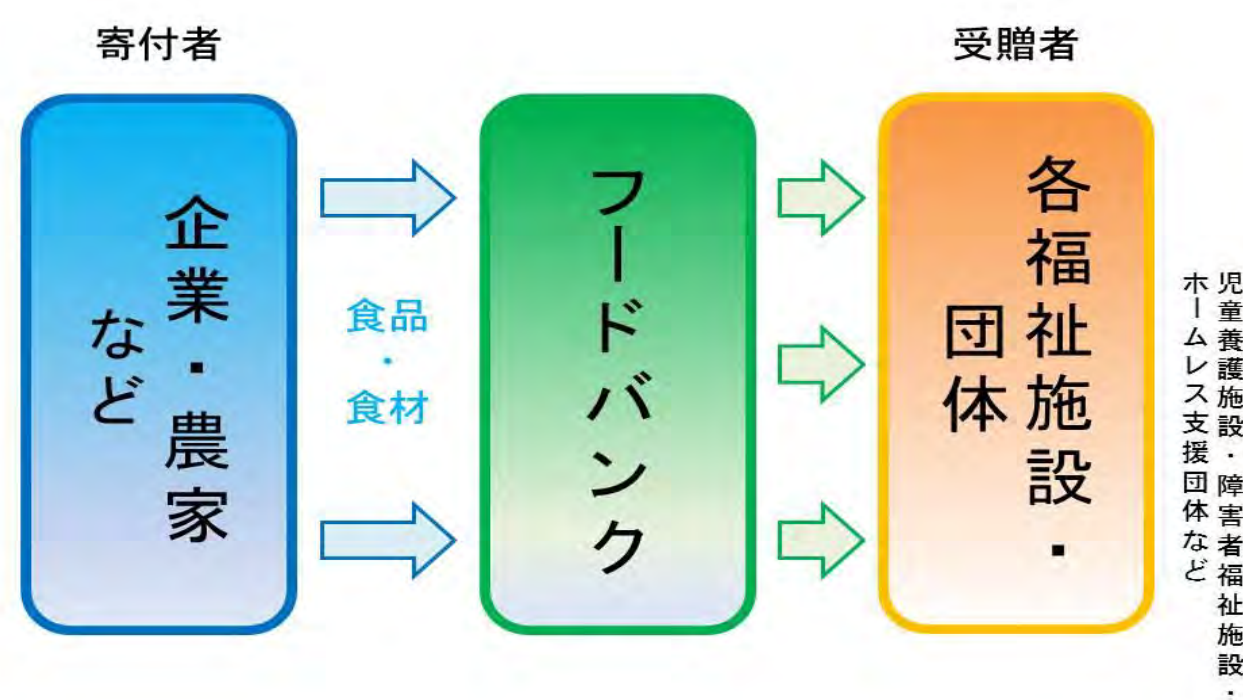
フードバンク活動実施企業の実態把握及び フードバンク活動未実施企業の参入促進方法の提案

金谷研究室

大野圭悟

1. 背景・論点

日本での食品ロスは年間約600万トン⇒対応策としてフードバンク(以下FB)がある



先行研究では…

FB団体対象は多いが
FB活動実施企業対象は少ない

企業がFB活動を実施しない理由
について研究されていない

2. 研究の目的・意義

目的 FB活動実施企業の実態を把握すること
FB活動未実施企業の参入促進方法を提案すること

意義 企業のFB活動の参入促進につながることに
企業がFB活動を始めるにあたって参考になること

3. 研究方法

- ①文献調査✓
 - ②FB活動実施企業へのアンケート調査✓
 - ③FB団体へのアンケート調査✓
 - ④FB活動未実施企業へのアンケート調査1✓ → 障壁把握
 - ⑤FB活動未実施企業へのアンケート調査2 → 促進に向けて
- 実態把握

4. 中間発表1以降の進捗状況

(1)FB活動未実施企業へのアンケート

目的 FB活動参入への障壁を把握すること

調査対象

「加工食品」「米・パン・麺・穀類」
関連協会の食品製造企業 374社
日本冷凍食品協会(105社)/日本缶詰協会(228社)
日本即席食品工業協会(31社)/全国包装米飯協会(10社)

選定理由

- ①「加工食品」「米・パン・麺・穀類」の業界に属するFB活動実施企業が多い
→未実施の同業者が参入するハードルは低いのでは?
- ②FB団体もこの2業界の食品を求めている

結果(374社中59社から返答)

問	質問項目 (一部抜粋)
1	フードバンクを知っているか
2	フードバンク活動実施の予定はあるか
3	実施するにあたって不安だった点
4	不安が解消された方法
5	実施しない理由

- 59社中46社が知っている
- 予定あり(13(9)) 予定なし(46)
- 転売(3)食品事故発生時の責任の所在(4)
- FBと契約書を交わす(4)

実施しない理由 (複数回答可) (n=46)	社数
提供するほどの食品ロスがない	20社
食品事故発生時の責任の所在が不安	21社(7)
転売が不安	15社(7)
フードバンクを知らなかった	13社(3)
フードバンクから声かけがない	8社(4)
近くにフードバンクがない	5社(5)

※内数は他の理由として「提供するほどの食品ロスがない」と回答した企業の数

(2)FB活動未実施企業参入促進の方法の提案に向けて

実施しない理由群①

「転売が不安」「食品事故発生時の責任の所在が不安」

⇒FBと契約書を交わすことで解消できることが分かったので**契約書を交わす**ことが参入促進の要因になると考える

実施しない理由群②

「FBを知らなかった」「FBから声かけがなかった」

⇒**広報活動に注力すること**も参入促進につながるのではないかと考える

今後は契約書の具体的な内容について調査し、可能であれば実際の契約書をFB活動実施企業やFB団体から頂戴し、未実施企業に契約書の内容を提示し反応を伺うアンケートを実施する。

5. 今後の予定

10~11月: フードバンク活動未実施企業へのアンケート調査2・フードバンク団体へのアンケート

12月~: 卒論執筆

参考文献

- 1) 石坂薫, 田中勝, 他: フードバンクに寄付される食品の解析~どこから来てどこで活用されるのか~, 廃棄物資源循環学会研究発表会講演集, 28(0), pp.117(2017)
- 2) セカンドハーベストジャパン: 食品ロス削減におけるFB活動の役割, 都市清掃, 68(37), pp.488-491 (2000)
- 3) 小林富雄: フードバンク活動における食品ロスの再分配と流通機能, 農業市場研究, 21(1), pp.35-41(2012)
- 4) 食品OEMコム 食品飲料関連団体一覧: (<https://www.food-oem.com/h-dantai.html>)
- 5) 農林水産省 食品産業リンク集: (http://www.maff.go.jp/j/shokusan/kikaku/other/link_syu.html)